

## 第 26 回ウインドサーフィン猪苗代湖横断マラソンレポート

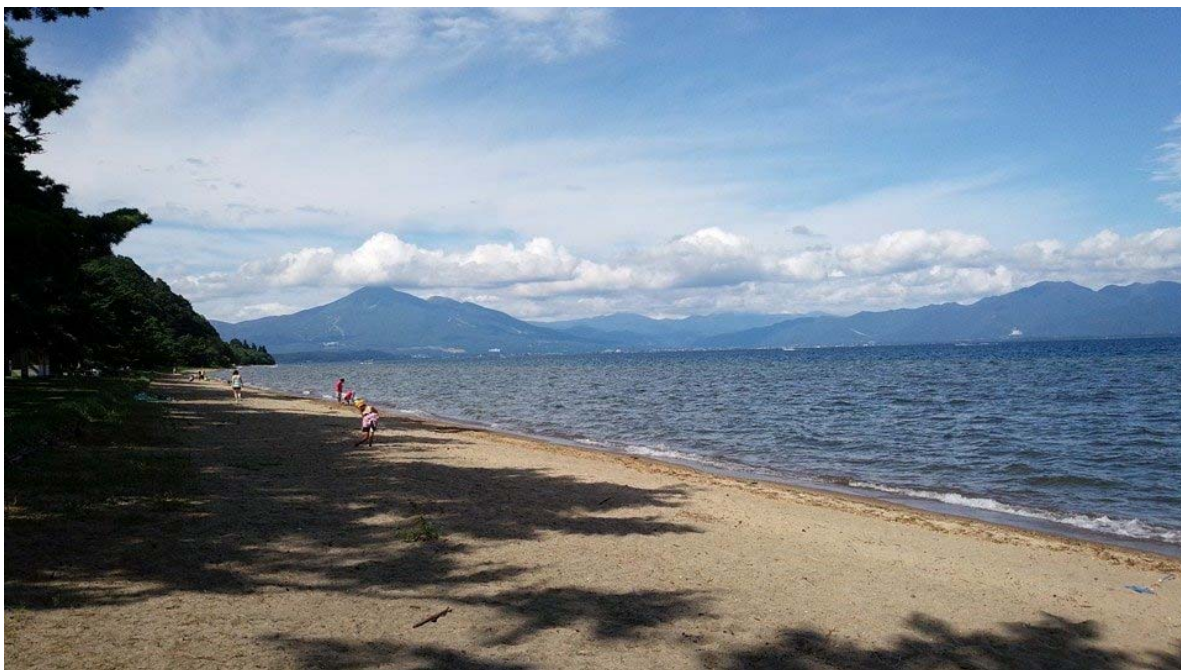
日付： 2015 年 8 月 29 日（土）

会場： 福島県猪苗代湖 崎川浜湖水浴場

JWA 実業団ディビジョン  
大会幹事

猪苗代湖西岸の崎川浜をスタートし、対岸の天神浜まで往復するというこの大会、何しろ 15km をアビーム一本で走り抜けるので吹いた時の爽快感は他のレースにないものがある。そういうことで道具も様々。今年もハイブリッドボードやフォーミュラはもちろん、この大会のため大事に持ち続けたレースボードに乗る往年のコースレーサーや、吹けばやったるぜと意気込むスラロマー、インフレーターブル（空気でふくらますボードです）や懐かしのサーファー艇などいろんな道具を持つ選手約 50 人が集まった。

そのため選手層も幅広く、オリンピックや国体などのレースのエキスパートから、普段はレースでないけどこれだけはって方など様々です。そうそう、今年は福島プロや脇元プロもインフレーターブルボードのウインドを普及させたいとの気持ちでこのクラスに出て頂きました。



天気は曇りがちで対岸の磐梯山も雲に隠れ風も弱く、吹きそうになかったが、予報に反し日差しも出て南風がだんだん強まってきた。なにしろ 15km という長丁場なのでレスキュー用の携帯電話入れる防水ケースや給水用のハイドレーション、あるいはビデオカメラや航跡記録用機材などいろいろな装備を持っている人はその点検をしたりで選手のテンションも高まり、風が 5~6m に上がった 12 時 50 分に一斉スタートした。

このレースのスタートは 分前のフラグとかややこしいものでなく、スターターのマリッジットがアビームに設置されたスタートラインに沿って風下から風上に向かって走り、その走りすぎた後からスタートするもの。そうです、あの有名なフランスの“DEFI WIND”を日本で味わえるのです。なので当然リコールは 0（リコールしたらジェットスキーにぶつかっちゃうし、15km 走るのだからスタートをせこせこやってもしゃないしね）

さて大きめのセイル選手はスタート時からフルプレーニング！ヤッホー今年あたり年だぜってどの選手も快調に走り始めたが、この時点で魔の関門が 2 つ待ち受けていることを知る人は誰もいなかった。

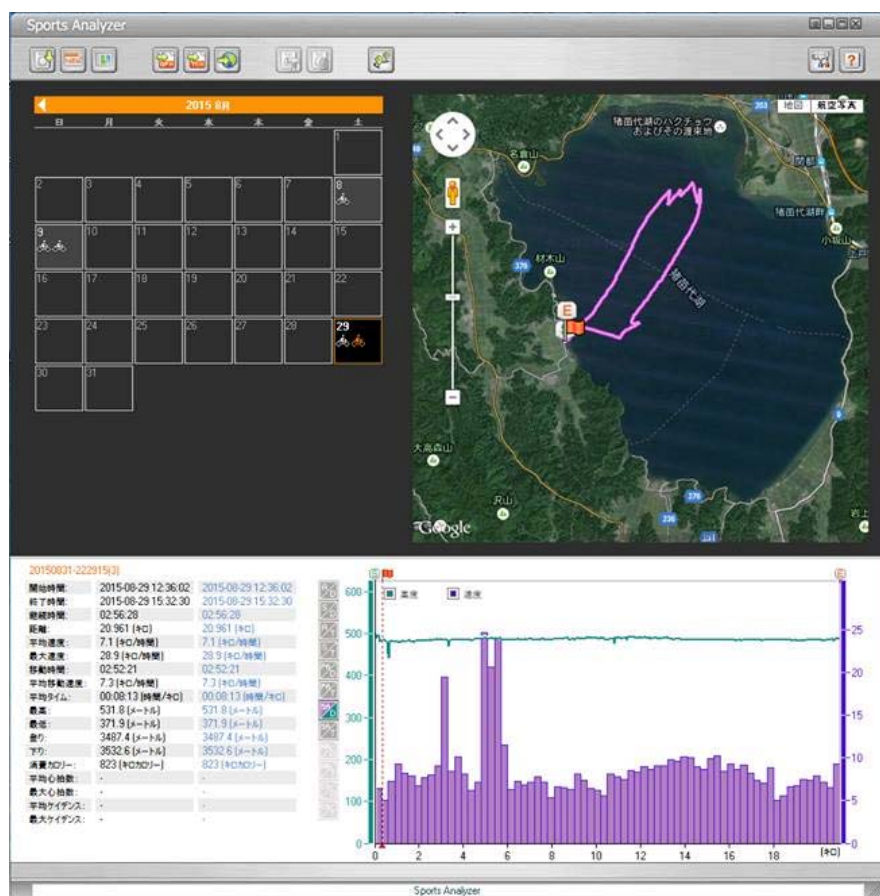
最初の関門は風。スタートしばらくすると風が振れて対岸岸辺に打ったマークまでがきつい上りになり、おまけに風も 2~3m に落ち、これでショートボードで出た選手には非常に厳しいものになってしまいました。それでもダガーのある道具の選手は順調にマークを周りスタートした崎川浜を目指す、が、ここで一部の選手に第 2 の関門が。あれ？崎川浜はどこだっけ？？？

そう、往復 15km ということは当然ながら片道 7.5km。行きは先導のモーターボートがいるけど帰りは自分でどの方向か見定めないといけないのがマラソンレースの常識で、スキッパーズミーティングでも「スタートしたらときどき振り返って崎川浜の場所を確認して」と言っていたのだが、スタートのコンディションがあまりによく、真正面の磐梯山を見てたらついつい振り返ることを忘れてしまったようです。で、上りすぎて最後にウルトラ下りで順位を落とす選手が

多く出てしまった。

しかしレスキューも無く、フォーミュラボードに乗る富澤選手（リオオリンピックの富澤さんのお父さん）が2時間34分でフィニッシュ、次にハイブリッドボードの小菅選手（北京オリンピック代表）が女子1位の2時間38分でフィニッシュし3位はフォーミュラの阿部選手（2時間46分）、4位もフォーミュラの庄野選手で、5位にレースボードの中島選手が入った。スラロームボードやフリーライドボードのファンボードクラスは優勝が桜井選手、2位坂内選手だった。

今回初めて設けたインフレーターブルクラスは福島プロを含めて3名完走できました。また総合順位での年齢別表彰もあり、40歳代優勝小久保選手、50歳代優勝森選手、60歳代優勝黒崎藤選手でした。（年齢別表彰はクラス表彰されている選手は抜いて繰り上げ表彰としています）。そして特別表彰として最速の福島在住セイラーに贈る「ふくしま賞」は坂場選手が獲得した。



そうそう、この大会のサブタイトルは「ウインドサーフィンで福島県を応援しよう」なので会場では地元の農家の方に野菜などの直売エリアを設けてもらったり、地元の特産物やお酒等を賞品として渡したりしました。また選手も大会後は温泉に入ったり、宿やキャンプ場で泊って翌日も福島県を満喫した人が多くいたようでした。

ノンダガーのインフレーターブルボードでも往復できたように、コースはアビームですから普段セイリングされているフリーライドボードなどでも横断OKです。

コースレースやスラロームの大会は敷居が高いな、という方はぜひ参加ください。スタートもわかりやすいし、なにしろジャイブ1回だけですから。

来年も開催する予定ですので、より多くの選手の参加を今から楽しみにしております。

以上

(入賞写真)



レーシング1クラス (1~3位)



レーシング2クラス (1~3位) + 女性優勝 (総合2位)



ファンボードクラス (1~2位)



年齢別・ふくしま賞

(その他)



無風堂チーム (静岡県静岡市三保)



ダック (Duck) チーム (千葉県木見川) + 脇元プロ



東京都チーム (東京)